

カロローザ Calorosa



■ドヴォジャーク：ピアノ三重奏曲第3番へ短調作品65

杉浦 美知 (ヴァイオリン) / 茂木 新緑 (チェロ) / 城 みどり (ピアノ)

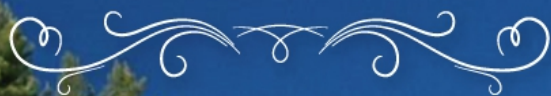
■アミロフーナジロヴァ共作：アルバニアの主題による組曲

■リスト：メンデルスゾーンの無言歌の主題による 大コンツェルトシュトゥック

Duo Fiore: 横井 玲子 (ピアノ) × 石澤 直子 (ピアノ)

■メシアン：世の終わりのための四重奏曲

廣川 抄子 (ヴァイオリン) / 茂木 新緑 (チェロ) /
鈴木 生子 (クラリネット) / 尾西 秀勝 (ピアノ)



※やむを得ず変更される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

第54回 定期演奏会

河口湖公演

2017.4/16 日

14:00開場 14:30開演
河口湖円形ホール

一般：1,000円 (自由席)
高校生以下：500円 (自由席)
[チケット取り扱い]
河口湖ステラシアター
tel: 0555-72-5588
[主催] カロローザ
[特別協力] 河口湖円形ホール

東京公演

2017.4/29 土

13:00開場 13:30開演
東京オペラシティ
リサイタルホール



一般：3,000円 (自由席)
[チケット取り扱い]
東京オペラシティチケットセンター
tel: 03-5353-9999 (月曜定休)
[主催] カロローザ

【お問い合わせ】カロローザ事務局 ■電話：03-5726-8031 ■メール：info@calorosa.net ■ウェブ：http://calorosa.net/



カロローザについて

国際的な演奏活動の傍ら、桐朋学園、キジアーナ音楽院（イタリア）や世界各地のマスター・クラスで長年教鞭をとってきた室内楽ピアニスト岩崎淑に師事し、多彩な室内楽の素晴らしさと奥深さに開眼させられ、その道を究めようという情熱を共有する音楽家たちが構成される演奏団体が「カロローザ」です。桐朋学園出身のピアニストを中心とし、新鋭の若手から各地で活躍するベテランまで、また子育てを終えて演奏を再開した者など、多種多様な音楽家たちが結集し、1982年から定期演奏会、新人演奏会、室内楽研究会をはじめとする活動を長く重ねております。

「Calorosa（カロローザ）」とは楽譜の中で指示されるイタリア語の音楽用語で、「温かい心を込めて」、「人間的に」、「赤々とした情熱を持って」などの意味を持っています。岩崎淑の信条として、何より心豊かな心を育み、異なる感性と感性とが相互に触発され、音楽で多様に語り合う室内楽の醍醐味を「カロローザ」の活動の中で感じていただけましたら幸甚に存じます。

杉浦 美知（ヴァイオリン）



米国ワシントンD.C.生まれ。カーティス音楽院卒業。インディアナ大学大学院において更に研鑽を積む。幼少よりアメリカ国内各地のコンクールに優勝し、フィラデルフィア管弦楽団、ナショナル交響楽団等のオーケストラと協演。メニューイン（英）、モントリオール（カナダ）、エリザベト王妃（ベルギー）、カール・フレッシュ（英）、日本国際コンクール等の国際コンクールで受賞。各地でリサイタルのほか、NHK、RTB（ブリュッセル）、WMFT（シカゴ）放送局等のリサイタル番組にも出演。2015年、ジョージア（旧グルジア）文化省助成の音楽祭に招かれ、管弦楽団との協演や公開レッスンをジョージアで行う。全日本学生音楽コンクール審査員を務める。

廣川 抄子（ヴァイオリン）



東京藝術大学卒業。これまで、東京ニューシティ管弦楽団、新潟交響楽団と共演するほか、東京・浜離宮朝日ホール、新潟・だいしホールなど多数リサイタルを行う。また、オランダ・ミュージック・セッションにおいてV.リーバノン、E.シュミーダー、ワイマール・フランツ・リスト音楽院においてY.ノーマンの各氏の下で研鑽を積む。白井充子、伊藤浩史、山岡耕彦、海野義雄の各氏に師事。現在は、東京と新潟を拠点に幅広く活動する傍ら、後進の指導にもあたっている。トリオ・ペンナ、アンサンブル・デュナミス、新潟ARS NOVAの各メンバー。新潟市ジュニアオーケストラ教室講師。

茂木 新緑（チェロ）



1968年東京藝術大学入学。在学中より東京ハルモニア室内オーケストラに入団。同大学卒業。安宅賞受賞。NHKにてユースシンフォニーオーケストラとサン・サーズのチェロ協奏曲を共演し放送。1973年NHK交響楽団入団。同大学院卒業後、ルツェルン・マントン等、ヨーロッパ各地の音楽祭に参加。一方、NHK交響楽団の団員とシュロス、エクシモン等、弦楽四重奏団を結成。定期演奏会、NHK-FMの放送等で活躍した。N管退団後、若木トリア、ルミエル弦楽四重奏団、弦楽合奏団アカンサスII、ムゼカルテット、ソロ活動の他、洗足学園大学、学習院高等科にて後進の指導にも当たる。

廣田幸夫、(故)堀江泰、(故)レーヌ・フラシーの各氏に師事。

鈴木 生子（クラリネット）



桐朋学園大学音楽学部附属子どものための音楽教室を経て、東京都立芸術高等学校（現・東京都立総合芸術高等学校）、東京藝術大学、マサチューセッツ音楽院大学院、スヴェーリング音楽院（現・アムステルダム音楽院）大学院（バスクラリネット）修了。霧島音楽祭にて奨励賞、グローバルユース賞を受賞。現在、フリーのクラリネット奏者としてオーケストラや室内楽で活動する他、朗読など異ジャンルとの新しい場のある方を模索しつつ、コンサートの企画・演奏も行っている。また、多くの現代作曲家の作品を初演している。アンサンブル・コンテンポラリーα、オプロ・クラリネットアンサンブル、NYリコリッシュアンサンブルのメンバー。東京都立総合芸術高等学校講師。

©yOU

城 みどり（ピアノ）



桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻を卒業。オーストリア、ザルツブルク国際音楽セミナーに参加し、ディプロマ取得。ボストンのニューイングランド音楽院に学び、ハーバードミュージカルアソシエーション、ニューイングランド音楽院、ロンジースクールにて、ソロ及び室内楽のリサイタルを行う。第12回沖繩ムーンビーチ・ミュージックキャンプに参加。1996年より、ピアノデュオシリーズを開催するほか、シューマンのタペ、作曲家シリーズ、ドイツの森、チェロとのデュオPlacevoleなどのコンサートを行い、また、アンサンブルピアニストとしても活動している。上野久子、故 井口愛子、G・チョドス、岩崎淑、辰巳明子、トーマス・ヒルの各氏に師事。カロローザ会員。

尾西 秀勝（ピアノ）



桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中、作曲とピアノの他、古楽器鍵盤楽器、指揮もそれぞれ専攻し、卒業後にパイプ・オルガンも研鑽する。多様な楽器の演奏活動を広げ、絶滅した幻のガラス製古楽器「アルモニカ」の日本における復興活動を2007年に開始し、独自の音楽づくりがTVや雑誌などメディアで度々紹介されている。ジャンルを超えて、2015年にはEXILEメンバーのTV番組でダンスとのコラボレーションにソロで臨み、新しい可能性を示した。作曲を浦田健次郎、安良岡幸夫、夏田昌和、山田泉に、指揮を黒岩英臣に、ピアノを岩崎淑、柴沼尚子、藤井一興に、チェンバロとフォルテ・ピアノを有田千代子、渡邊順生に、パイプ・オルガンを早島万紀子の各氏に師事。

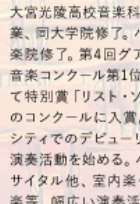
Duo Fiore [デュオ・フィオーレ] (2台ピアノ)



2011年、2台ピアノコンサート共演をきっかけに出会い、2012年、岩崎淑氏のイタリアカラブリア州でのマスタークラスに参加。イタリアからの帰国後、岩崎淑氏監督のもと、ピアノデュオ『Duo Fiore』を結成。2013年、デュオCD『Duo Fiore〜壮大な二台ピアノの世界へ〜』をリリースし、東京オペラシティにて発売記念コンサートを開催。レコード芸術など各音楽雑誌でも高い評価を得た。2014.15年、デュオフィオーレ音楽フェスティバルin河口湖を開催し、毎日新聞に記載され、幅広く音楽活動を展開している。

公式サイト ■ <http://duofiore.com/>

横井 玲子（ピアノ）



大宮光陵高校音楽科卒業。桐朋学園大学卒業、同大学院修了。ハンガリー国立リスト音楽院修了。第4回グアルディアグレーレ国際音楽コンクール第1位入賞（イタリア）、併せて特別賞「リスト・ソナタ賞」を受賞、内外のコンクールに入賞。2006年、東京オペラシティでのデビューリサイタルを機に活発な演奏活動を始める。ハンガリーと日本でリサイタル他、室内楽や伴奏、NHKドラマ音楽等、幅広い演奏活動を行う傍ら、後進の指導にも情熱を注いでいる。現在、尚美学園大学ピアノコース非常勤講師。

石澤 直子（ピアノ）

日本大学芸術学部音楽学科ピアノコース卒業。読売新聞社主催第68回読売新人演奏会出演。第8回万里の長城杯国際音楽コンクール優秀賞受賞。第5回全日本芸術コンクールピアノ部門奨励賞受賞。2001.02.04年ウィーン国際音楽セミナーマスタークラス修了。2004.09年、ロシア大使館にて「日露友好の会」コンサート出演。現在、ソロ・室内楽・ピアノデュオともに演奏活動を広げている。日本・ロシア音楽家協会、日本アンレスキー協会、各会員。公式サイト ■ <http://piano-ishizawa.com/>

河口湖円形ホール 山梨県南都留郡富士河口湖町河口3030（河口湖駅よりレトロバスで15分）
tel: 0555-76-8822



東京オペラシティ 東京都新宿区西新宿3-202（初台駅より徒歩5分）

